

平成30年12月19日開催

まちづくり検討会議全体会議アンケート

① 提言実現のために必要な取り組みや施策などについてのご意見

② 今回の地域ごとの提言を市全体の活性化につなげるために必要な取り組みや施策について思うこと

年代	性別	地域	ご意見の内容
30	男性	福光	<p>①②</p> <p>これまでのアンケートにも色々書いてきましたが、想いがたくさんあるため一部に限定して書きたいと思います。これまで様々な南砺市での会議等の集まりを見てきましたが、とにかくあちこちで「同じような課題発掘ばかり」というイメージと、自治振興会や自治会レベルの住民・組織との連携が弱いというイメージがあります。</p> <p>円滑な合意形成につなげたり、協働から総働に向かうという意味でも、定期的に「継続してまちづくりを話し合う機会」の定着化。また、他の団体や組織、同市他市の地域との情報交換・共有。そして、その地域におけるこれまでの地域課題やアンケート結果、住民意見、社会資源などの情報を収集して集約、蓄積して活用していく仕組みをつくるのが大切だと思います。そのためには、IT活用と直接的なふれあいを合わせて行っていく必要があると思います。ちなみに、私はIT活用推進の立場ですが、「電気か電波が使えなくなってしまうばオンラインできない」などのリスクとも、正面から向き合っていきたいと思っています。ただ「リスクがあるからダメだ」ではなく、ものごとには良き面とそうでない面があり、対比して考え、「良き面をより生かし、そうでない面をいかに抑えるか」を冷静に議論できるまちであってほしいと思います。</p> <p>情報ネットワークの伝達経路を見える化して整理できると良い。(旧まち、地区、在所、団体、企業など)音や視覚といった感覚別や、買い物等の日常生活(仕事)別などに整理し、見える化する。</p> <p>→どの伝達経路が重なりあっているか。どこで途切れているか。どう経路をつなぐか。伝達方法の効果はどうか。伝達する側、受けとる側、やり方、見直しが必要ではないか。など</p> <p>回覧板の有効活用、地域行事・イベントでの広報機会の活用や、会議等における市民同士が集うタイミングの機会・出会いをもっと積極的に活用して、互いの理解を促進・PRできると良い。小さなマッチングにつながる。</p> <p>→現在の人と人が顔を合わせるあらゆる機会において、目的や形式的な暗黙の慣習により、上手く活用できていないと感じる。</p> <p>ICT活用の遠隔コミュニケーションのパッケージモデルを、小規模多機能圏域などの住民コミュニケーションに用いていく。ふれあいTV2の効果や改善点を踏まえて。または、アプリケーション活用。</p>
40	男性	福光	<p>②今回の様な老若男女を交えた話し合いをすること、続けること、実現に向け動き、それに関わること、行政がそれをフォローする施策を続けるのが良い。</p> <p>4つの地域提言の具体化も大切だが、せっかく集まった4地域の委員がオール南砺の問題について、これからも一緒に取り組むことも大切だと思います。</p>
40	男性	福光	<p>①多くの人に知ってもらうこと、賛同者を増やしていくこと</p> <p>民間ベースでの資金確保、継続できる事業へブラッシュアップ</p> <p>地権者の説得、理解、総合窓口としての行政、予算をかけない支援・協力体制の確立</p> <p>②官に頼らない財源・人材の確保</p> <p>官と民のすみわけを明確に。互いの良い所を伸ばしてシナジーを目指す→PPPか</p> <p>今ある資産を最大限有効活用、リノベーション、複合化と集中</p>
50	男性	福光	<p>①提言書作成大変おつかれさまでした。</p> <p>どの提言にも駐車場が必要なのでは・・・</p> <p>広い南砺市、車の移動が多いと思う。公共交通も使用してもらおうが・・・</p>
50	男性	城端	<p>①実現可能な計画をするためには、単に各団体や公募の実情を知らない委員のみで話し合い、夢を意見として出していて提言として良いのか疑問である。もっと直接利害のある関係者をもって検討すべき課題であり、提出は性急すぎると確信する。</p>
50	男性	城端	<p>①本当に実現できるのかね？無駄な時間にならなきゃよいですが・・・各地域が提言されたとおり実現してあげて下さい。施策を求めるのは求めるところがちがうのでは？</p> <p>②庁舎の残る町(本庁所在地)VSなくなる町は危惧される。勇み足と思う。</p>
60	男性	城端	<p>①総合計画にどのように具体的に取り組むか？</p>

平成30年12月19日開催

まちづくり検討会議全体会議アンケート

① 提言実現のために必要な取り組みや施策などについてのご意見

② 今回の地域ごとの提言を市全体の活性化につなげるために必要な取り組みや施策について思うこと

年代	性別	地域	ご意見の内容
60	男性	井波	①各地域よく考えられたと思います ②新しい施設をつくるという提言が多いが、現施設を利用する考えを大切にしたいと思う。
60	男性	井波	①地域審議会や地元青年会、婦人会等に今回の提言を聞いてもらい、議論してもらおう→町全体の問題にしていく。それらの意見を各地域の行政センターや市職員と共有していく→予算的なものを取り入れていく→具体手に施策を作っていく ②それぞれしっかりと地元の問題を発掘し、地元の者しか分からない強み・弱みを洗い出した点がとても良かった。行政的にもこれらの提言をしっかりと認識し、各課を超えまちづくりに取り組んでほしい。
60	女性	福光	①各地域の抱える課題は大きくとらえるとほとんど同じ部分が多く(公共施設の再編や空き家問題、少子化など)南砺市全体である程度足並みをそろえて実行していくことが必要であると思います。今回の提言の内容のレベル(委員の方々の問題意識の視点)が違いすぎていて、各地域ごとに今回の提言を基準にして地域ごとの施策を考えるのは少し無理があるように思える部分もありました。 南砺市全体で、さらに連帯感を持てるような取り組みに力を注いでいきたいです。 ②それぞれの地域の提言の中でとてもすばらしい視点もあったので市全体で共有して進めてほしい。各地域の強みを他の地域の人たちも知り実感できる機会づくりが必要だと思います。新しく作る複合施設の議論のベースが今回の提言の内容のみにならないように、広く地域住民の声を聞き、市民の参加意識が高まるように検討委員会や、その内容の発信を工夫してほしいと思います。「地域愛」が深まるように！ 今後新市庁舎の建設や既存の庁舎の活用の仕方の議論に入と思うが、福光は他の地域とは違う議論の進め方になると思います。その議論はこの検討会議以前から議論されている流れも含めた施策作りを期待します。 (検討会議の委員の方々、熱心な提言に感謝します)
60	男性	井波	②特に観光面では4地域をつなげ、山間部も含め回れるような企画が必要。 アイデアは数多くあるが、現実性のあるものを優先しすすめて下さい(長く続けているものを…)
70	男性	福光	①地元で公共施設が多数あるとか、出先機関が多数ある、大企業があるというのは、今まではそうかもしれないが、今後はそれに頼っていたら自分たちでまちづくりをするということではないのではないかとされます(自慢することではない) ②4地域の特色ある提言であり、4地域同じでなくそれぞれが求めているものを企画してもらいたい
70	男性	福光	①発表だけでなく「自分たちでまちづくりに携わっていく」という意志は高く評価できる ②みんなよく研究している。ご苦労さまでした。議会報告より楽しかった。
70	女性	福野	①施設再編に踏み込んだ発言に感動した ②”地域の自慢大会”から脱却し、地域バランスを考えた施策につなげる
70	男性	城端	①小規模多機能自治との関係？
70	男性	城端	①すぐ出来るもの、出来ないものを分けて進める お金をかけても効果の出るものは進める
	男性		②各地域の提言に沿って行政も実現に向けて行くようサポートをしてもらいたい